TAMASHIN Report 2022.6

2022.04.01 - 2022.06.30

―多摩の明るい未来を目指して―

第1四半期の取り組みと その結果についてご報告します。

いつも**たましん**をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。
多摩の明るい未来に向けて、多摩地域がよりいっそう安心して
豊かに暮らせる場所となるように、
今まで以上にお客さま一人ひとりが抱える課題に真摯に向き合い、
経営理念である「お客さまの幸せづくり」を実現してまいります。
今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

理事長
八木 敏郎

たましんトピックス

「TAMA NEXT リーダープログラム 14期生」開講

後継者育成を目的とした「TAMA NEXT リーダープログラム14期生」開講式をパレスホテル立川で開催しました。半年間にわたって開催する実践的なプログラムを通じて、経営者に必要なマネジメント能力や財務知識を幅広く学ぶ機会を提供していきます。

来店予約システム開始

6月1日から来店予約ができるようになりました。スマートフォンやパソコンからいつでも新規口座開設、各種変更などのお手続きや資産運用、ローン、相続等のご相談予約が可能です。来店の際、ご予約のお客さまを優先してご案内します。「時間を有効に活用したい」「ゆっくり相談したい」とお考えのお客さまはぜひご利用ください。

「しんきんファンドラップ」取扱開始

「しんきんファンドラップ」は、お客さまが抱く夢や希望の実現に向けた運用プランや運用に対する考え方をもとに、専門家に資産配分や投資判断をお任せするサービスです。全国の信用金庫で初めて取扱いを開始しました。

たましん本店移転2周年記念講演会

立川ステージガーデンにて、たましん本店移転2周年記念講演会を開催しました。講師に、多摩大学学長の寺島実郎氏をお迎えし、「コロナ、ウクライナ危機を超えて～世界の構造変化と日本の針路～」と題して講演いただき、1,000名を超えるお客さまが来場されました。

八王子中央支店1階まちなか交流・活動拠点「まちの駅 八王子 CHITOSEYA(ちとせや)」リニューアルオープン

八王子市と協力し、ファミリー世代を中心とした幅広い世代の活動を支援し、中心市街地の活性化を促進するための施設を2017年から八王子中央支店1階に設置しています。6月12日に、「まちの駅八王子CHITOSEYA(ちとせや)」としてリニューアルオープンしました。八王子野菜など地域の魅力や環境や社会の変化に配慮した暮らしについて発信しています。

特殊詐欺被害防止の取り組み

振り込め詐欺・カード詐取・還付金詐欺等の特殊詐欺被害に遭わないよう、来店されるお客さまに声かけを行うとともに、6月15日の「信用金庫の日」より「特殊詐欺注意喚起ミニポスター」を配布しています。このポスターは、いざという時に落ち着いてご対応いただけるよう、ご家族の電話番号・ご家族の合言葉を記入し、固定電話の側などに貼っていただくものです。お客さまの大切な資産を犯罪被害からお守りするために継続的な取り組みを行っています。

多摩信用金庫

業績ハイライト

預金・貸出金について

地域の皆さまが抱える課題の解決に取り組んだ結果、預金積金残高は、2022年3月末より577億円増加し3兆2,263億円となりました。貸出金残高は、地域の皆さまが抱える課題の解決に積極的に取り組みコロナ対応融資が一巡した結果、2022年3月末より66億円減少し、1兆1,485億円となりました。内訳として、事業性のご融資は82億円減少、個人のお客さまのご融資は15億円増加しました。

※ 個人のお客さまへのご融資には、個人事業者向け住宅資金・消費資金等が含まれます。

▽預金積金残高

▽貸出金残高

損益について

米国金利の上昇を背景として、将来のリスク抑制と収益確保に向けて、外国証券の売却損と株式の売却益を大きく計上したことなどから、業務純益は△10.2億円、経常利益は17.9億円となりました。当期純利益は12.9億円となりました。

▽業務純益の推移

▽経常利益の推移

▽当期純利益の推移

有価証券について

資金運用については、中長期的に安定した運用を心がけ、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資しています。

評価損益については、国内外の金利上昇の影響等により、悪化しました。

※ 有価証券の種類別残高は2022年6月末における貸借対照表計上額です。
※ 右図の「その他」は、投資信託等です。

▽有価証券の種類別残高内訳
（2022年6月末現在）

▽有価証券の評価損益

不良債権について

金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は2022年３月末より20億円減少し677億円となり、不良債権比率も0.15ポイント減少し5.87%となりました。不良債権のうちの83.72%は担保・保証や貸倒引当金によって保全され、残りの16.27%にあたる110億円についても、自己資本により、全額カバーされています。

※ 金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、たましんが保証する私募債を対象にしています。
※ 要管理債権の残高はありません。

▽債権総額と内訳

○本誌に掲載している計数は、発表日現在において入手可能な情報に基づいています。また、会計監査人の監査を受けていません。
○原則として単位未満切り捨て表示のため、合計・前期末比等が表示数値による算出値と一致しない場合があります。
○月末時点の計数については「○年○月末」、期間中の計数については「○年○月期」として項目表示しています。

たましんレポート 2022年6月期
多摩信用金庫
〒190-8681 東京都立川市緑町3番地の4
TEL:(042) 526-1111 (大代表)
https://www.tamashin.jp

本誌に関するお問い合わせ
お客さま照会センター
フリーダイヤル:0120-187-329

UD FONT

発行:2022年8月